

令和5年度事業報告

令和5年度は、国内では新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、人流は回復し、インバウンド需要の増加等もあって景気回復が見え始めました。

一方、食肉を取り巻く状況については、原材料価格や燃料費の高止まりに加え、人手不足等により食肉事業者には厳しい経営環境が続いています。

このような中、センターにおいては、食肉の円滑な流通を推進するため、引き続き部分肉価格情報の公表や食肉業界の販売動向の公表などを的確に行いました。

また、前年度のG棟施設の完成に続いて、A・B棟を解体して駐車場として整備を進め、年度末には関連する一連の事業が終了し、川崎センターの新たな施設体系が整いました。

1 令和5年度事業

(1) 部分肉取引情報業務

ア 取引情報の収集・公表等【参考1】

全国の主要食肉卸売企業から部分肉の取引情報を収集し、牛部分肉(和牛、乳牛、交雑牛及び輸入牛)及び豚部分肉(国産豚及び輸入豚)について、公表地域(首都圏、近畿圏、中京圏及び九州地域)ごとに取りまとめ、部分肉取引情報として公表しました。

公表は、日報、週報等を市況速報としてホームページで公表するとともに、新聞、食肉業界紙等にも掲載され、本年度の公表回数は、延べ1,406回でした。

また、部分肉取引情報は、市況速報とは別に月報(翌月中旬)及び年報(翌年1月下旬)として取りまとめ、ホームページで公表しました。

イ データ提供企業との連携

センターへ部分肉取引情報を提供していただいている食肉卸売企業との連携を維持するため、センターが取りまとめた関連情報を各社にフィードバックするとともに、データ提供システムの改修が必要となった企業に対し

ては、その費用を支援しました。

さらに、データ提供企業との連携を一層強化するため、各社の担当者を招集した「部分肉取引情報担当者会議」を初めて開催し、センターの情報業務について理解の促進を図りました（令和6年2月）。

（2） 部分肉流通施設の貸付け・整備等

ア A・B棟の解体及び跡地の駐車場整備

A・B棟の解体及び跡地の駐車場整備は、令和4年12月から本格的に着手したところですが、A・B棟の外壁等からアスベストの含有が確認されたことから、アスベストの除去・処理を行うこととしました。このことにより、工事期限（令和5年5月末）は令和6年3月末まで延長となり、追加経費も発生しました。

なお、本工事は令和5年11月末をもって終了し、翌12月から新駐車場の利用を開始しました。これに併せて、12月1日より川崎センター内の全ての大型・中型車専用駐車場の使用料金を約2倍に改定しました。

なお、工事期間中臨時で借りていた千鳥町代替駐車場については、令和5年12月31日をもって賃貸借契約を終了しました。

イ アスベスト除去費用の見積りの変更

A・B棟外壁にアスベストが確認されたことを機に既存施設を検査したところ、他のすべての施設についても同様にアスベストが確認されたことから、全施設のアスベスト除去費用を見積もり、令和4年度決算の貸借対照表に短期資産除去債務及び固定負債（資産除去債務）として計上しました。

本年度にA・B棟のアスベスト除去費用の単価が確定したことから、改めて他の棟の除去費用の見積額を見直したところ約85.8億円（対前回△約10.4億円）となり、この見直しを令和5年度決算（貸借対照表）に反映しました。

（変更の概要）【参考2】

- ・ A・B棟の除去費用 約11.1億円（見積り）→約10.5億円（確定額）

*差額の約0.6億円は、令和5年度決算で正味財産増減計算書の経常費用（設備費）にマイナス計上

- ・ A・B棟以外の除去費用見積額 約96.2億円→約85.8億円

- ・全施設の除去費用見積額 約 107.3 億円→約 96.3 億円（A・B棟分は確定額）
- ・貸借対照表の資産除去債務 令和4年度約 72.9 億円→令和5年度約 65.7 億円

ウ 部分肉流通施設等の貸付け

- ① 一部出店者の退去により空小間が発生しましたが、既存出店者に対し要望に応じた施設の改造を行い貸付けを行いました。
- ② 当センターにおける卸売取引施設等について、ホームページ上で募集案内を掲載するとともに、施設の貸付けについて関係者からの情報収集や食肉事業者への働き掛け等を行いました【参考3】。

エ 現行施設の修繕等

大規模修繕等については、平成26年度に造成した基金（特定費用準備資金）を活用して、川崎センターのE棟污水圧送配管更新工事に着手し、これをもって基金関連の工事は完了しました。

通常の施設、設備の修繕等については、工事内容の緊急性、重要性等を勘案して計画的・効率的に実施し、川崎センターではC・D棟事務所棟空調機更新工事、F棟2階エアシャワー修繕工事等、大阪センターでは受水槽・高架水槽・工業用水槽その他更新工事等を行って、施設、設備機能の維持向上を図りました。

オ 部分肉流通促進対策等の実施

部分肉流通促進対策の一環として、外部検査機関に委託し、センター施設の共用部分の衛生検査を実施しました。その結果に基づき、川崎センターでは、専門業者による共用部分等の清掃・消毒やF棟1階の測溝清掃等を行い、大阪センターでは、管理棟トイレ床乾式等工事、共用トイレの分解清掃・消毒作業等を実施することで、施設内の衛生水準の一層の向上を図りました。

(3) 部分肉の流通の改善及び合理化のための調査等

ア 「食肉業界の販売動向」及び「最近の食肉をめぐる状況」の公表

- ① 「食肉業界の販売動向」として、食肉の販売状況や物流の現状・課題等について出店者等から聴き取って取りまとめホームページで公表しました（令和5年6月、9月、令和6年2月）。

② 「最近の食肉をめぐる状況」として、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、ウクライナ情勢に端を発する国際問題や為替相場、物価上昇など食肉販売に大きな影響を与えている要因を分析して取りまとめホームページで公表しました（令和6年3月）。

③ 公表したこれらの報告については、業界紙、関係機関等にも紹介し、業界紙において連載されました。

また、「最近の食肉をめぐる状況」については、セミナー及び研修会の機会を捉えて説明しました（令和6年3月（2回））。

イ 「部分肉規格に関する報告書」の公表

令和4年度に実施した全国の食肉事業者を対象とした部分肉規格の実態について調査結果を取りまとめ「部分肉規格に関する報告書」としてホームページで公表（令和5年4月）し、食肉流通標準化システム協議会全体会の場で講演を行いました（令和5年6月）。

ウ 食肉流通段階別経費調査の実施

農林水産省の「令和5年度食肉流通段階別経費調査プロジェクト委託事業」を受託して和牛肉に係る生産者、食肉事業者及び小売業者の各段階の経費を調査し、その結果を取りまとめホームページで公表しました（令和6年3月）。

エ コマーシャル規格普及資材の作成

牛・豚部分肉の小分割規格である牛・豚コマーシャル規格を普及するため、公益社団法人日本食肉協議会の助成を受けて、次年度における規格及び製造工程の普及資材（規格書及び動画）の作成に向けた準備をしました。

オ ちくさんフードフェアの中止

令和5年度の「ちくさんフードフェア」は、開催時期がA・B棟の解体及び跡地の駐車場整備の工事期間と重なり、フェア会場を安全な状態で確保できないことから中止しました。

カ センター出店者・消費者等を対象とした研修会の開催【参考4】

センター出店者をはじめ食肉関係者や消費者などを対象に、川崎で3回、大阪で2回、その他会場で1回の計6回、食肉流通の改善及び合理化のための研修会を開催しました。

キ 食肉流通標準化システム協議会での取組み

食肉流通の効率化・標準化を促進するため、「食肉流通標準化システム協議会」の事務局として流通先進事例研修に参加するとともに、インボイス制度、電子帳簿保存法への対応等について、協議会メンバー間での情報交換等を行いました（総会：令和5年6月、幹事企業会：3回開催）。

（4）広報活動の実施

センター及びその活動を広く周知・普及するため、ホームページを通じて積極的に情報発信したほか、イベント等でパンフレットを広く配布するなど広報活動を実施しました。

2 理事会及び評議員会

（1）第1回理事会（定例理事会）（令和5年6月1日）

開催場所 AP品川アネックス
決議事項 令和4年度事業報告及び決算
業務規程の一部改正
定時評議員会の招集
報告事項 理事の職務執行状況（令和5年度第1回）
出席等 決議に必要な出席理事の数 6名
出席10名、欠席1名
監事出席1名、欠席1名

（2）第1回評議員会（定時評議員会）（令和5年6月19日）

開催場所及び方法 AP品川アネックス（Zoomによるテレビ会議を併用）
決議事項 評議員、理事及び監事の選任
報告事項 令和4年度事業報告及び決算、理事会決議事項等
出席等 決議に必要な出席評議員の数 7名
出席12名、欠席3名
監事出席1名、欠席1名

(3) 第2回理事会(臨時理事会)(令和5年6月19日)

開催場所 AP品川アネックス
決議事項 理事長、専務理事及び常務理事の選定
常勤役員の退職慰労金の支給
出席等 決議に必要な出席理事の数 6名
出席10名、欠席1名
監事出席1名、欠席1名

(4) 第3回理事会(定例理事会)(令和6年3月15日)

開催場所 AP品川アネックス
決議事項 令和6年度事業計画及び収支予算
令和6年度資金調達及び設備投資の見込み
一時借入金の限度額
職員就業規程、業務規程及び情報公開規程の一部改正
報告事項 新棟(G棟)基本計画の進捗状況等
川崎F棟及び大阪北館の冷却設備の大規模更新工事
今年のちくさんフードフェア
理事の職務執行状況(令和5年度第2回)
出席等 決議に必要な出席理事の数 5名
出席9名、欠席2名、監事出席2名

3 役員の異動

再任理事数 8名 新任理事数 3名
再任監事数 2名

4 評議員の異動

新任評議員数 2名

5 会計監査人の異動(任期満了に伴う再任)

再任会計監査人数 2名

【参考1】 部分肉価格情報の公表方法（公表機関、地域等）

公表機関		公表地域	公表日	公表品目	部位数
日本食肉流通センター ホームページ 「部分肉価格情報専門 チャンネル」	首都圏 近畿圏 中京圏 九州地域	毎日（土・日及び祝日を除く） （15時10分）	豚カット肉「I」 （前日までの1週間分）	7	
		毎週火曜日（同上）	豚カット肉「I」（週間）	7	
		毎週水曜日（同上）	乳牛チルド「2」	13	
		毎週火曜日（同上）	和牛チルド「4」	15	
		毎週水曜日（同上）	交雑牛チルド「3」	13	
		毎月3、18日（同上）	輸入牛肉	20	
		毎月3、18日（同上） 月報（翌月原則11日） 年報（翌年1月下旬）	輸入豚肉 全品目 全品目	14 全部位 全部位	
日本経済新聞	首都圏	毎日（公表日翌日） 毎週木曜日 毎週水曜日	豚カット肉「I」 乳牛チルド「2」 和牛チルド「4」	7 12 12	
神奈川新聞 （令和5年12月まで）	首都圏	毎日（公表日翌日） 毎週木曜日 毎週水曜日 毎週木曜日 公表日翌日	豚カット肉「I」 乳牛チルド「2」 和牛チルド「4」 交雑牛チルド「3」 輸入牛肉	7 12 15 12 20	
日本農業新聞	首都圏 近畿圏 中京圏	毎日（公表日翌日） 毎週木曜日 毎週水曜日 毎週木曜日	豚カット肉「I」 乳牛チルド「2」 和牛チルド「4」 交雑牛チルド「3」	7 13 15 13	
日農 net アグリ市況	九州地域	公表日翌々日 公表日翌々日	輸入牛肉 輸入豚肉	20 14	
食肉通信社	食肉速報（日報）	首都圏 近畿圏 中京圏 九州地域	毎日（公表日翌日） 毎週水曜日 毎週火曜日 毎週水曜日	豚カット肉「I」 乳牛チルド「2」 和牛チルド「4」 交雑牛チルド「3」	7 13 15 13
		九州地域	公表日翌日から約10日後 公表日翌日から約10日後	輸入牛肉 輸入豚肉	20 14
食肉通信社	食肉通信（週報）	首都圏 近畿圏 中京圏 九州地域	公表日の翌週 公表日の翌週 公表日の翌週 公表日の翌週 公表日の翌週	豚カット肉「I」（週間） 乳牛チルド「2」 和牛チルド「4」 交雑牛チルド「3」 輸入牛肉 輸入豚肉	7 13 15 13 20 13
		九州地域	公表日の翌週	輸入豚肉	13
食品産業新聞社 （畜産日報）	首都圏 近畿圏 中京圏 九州地域	毎日（公表日翌日） 毎週木曜日 毎週木曜日 毎週水曜日 毎週木曜日 公表日翌日 公表日翌日	豚カット肉「I」 豚カット肉「I」（週間） 乳牛チルド「2」 和牛チルド「4」 交雑牛チルド「3」 輸入牛肉 輸入豚肉	7 7 13 15 13 20 14	
全国生鮮食料品流通情報 センター （依頼者へFAX送信）	首都圏 近畿圏 中京圏 九州地域	毎月3、18日	輸入牛肉	20	
肉牛新報社 （肉牛ジャーナル）	首都圏 近畿圏	毎月第4週目の速報値を掲 載	和牛チルド「4」 交雑牛チルド「3」	15 13	

- (注) 1 公表地域とは、部分肉の販売先の所在地を示すもの。
 2 当センターの部位数は、最も多い地域の部位数を記載している。
 3 各社の公表地域のうち、公表が省略される公表品目もある。
 4 各社の公表日は目安であり、紙面等の都合により、変動することがある。

【参考2】 アスベスト除去費用の決算への計上金額の内訳及び計算方法

1 令和4年度の計上

(単位：億円)

場所	棟	見積金額 ①	償却年数 ②	割引率※1 (%) ③	割引後金額 ④	減価償却費 ⑤	R4利息費用 ⑥	資産除去債務 R4計上額⑦
川崎	AB等	11.12	1年	—	11.12	8.62	—	11.12
	CD	6.90	24年	1.1600%	5.20	0.22	0.06	5.26
	E	22.70	31年	1.2855%	15.30	0.50	0.20	15.50
	F	20.10	19年	0.9920%	16.70	0.89	0.17	16.87
大阪	南館	24.20	33年	1.3085%	15.80	0.49	0.21	16.01
	北館	22.30	17年	0.8880%	19.20	1.13	0.17	19.37
合計		107.32			83.32	11.85	0.81	84.13

※1 割引率は、令和5年3月31日時点の財務省公表の国債金利情報を適用。率は償却年数によって変わります。

※2 AB等は翌年取壊しのため、単年度一括償却。2.5億円を令和3年度償却済みのため、差額8.62億円を単年度一括償却。

計算式 ④割引後金額＝①見積金額 / ((1+③割引率)^{②償却年数のべき乗})

⑤減価償却費＝④割引後の金額 / ②償却年数

⑥利息費用＝④割引後の金額 × ③割引率

⑦決算計上額＝④割引後の金額 + ⑥利息費用

2 令和5年度の計上

(単位：億円)

場所	棟	変更後の 見積額	R4との差額	変更後の 割引後金額	R4との差額 ⑧	R5利息費用 ⑨	資産除去債務 R5計上額⑩
川崎	AB等	—	—	—	—	—	—
	CD	6.1	▲ 0.8	4.6	▲ 0.6	0.05	4.7
	E	20.2	▲ 2.5	13.6	▲ 1.7	0.16	14.0
	F	18.0	▲ 2.1	14.9	▲ 1.8	0.13	15.2
大阪	南館	21.6	▲ 2.6	14.1	▲ 1.7	0.16	14.5
	北館	19.9	▲ 2.4	17.1	▲ 2.1	0.13	17.4
合計		85.8	▲ 10.4	64.3	▲ 7.9	0.63	65.7

⑩R5決算計上額＝⑦R4決算計上額 + ⑧R4との差額 + ⑨R5利息費用

【参考3】 当センターの入退去状況

入退去者数

退去者 2者（川崎 2者、大阪 0者）

入居者 3者（川崎 2者、大阪 1者）

入退去小間数

施設名	令和4年度末	令和5年度			備 考
	空き	退去	入居・借増し	空き	
川崎 A棟	—	—	—	—	令和4年4月で終了 令和4年4月で終了
B棟	—	—	—	—	
C棟	0小間	0小間	0小間	0小間	
D棟	0小間	0小間	0小間	0小間	
E棟	0小間	0小間	0小間	0小間	
F棟	0小間	1小間	0小間	1小間	
G棟	1小間	2小間	3小間	0小間	
大阪 北館	2小間	0小間	1小間	1小間	
南館	2小間	0小間	0小間	2小間	
計	5小間	3小間	4小間	4小間	

注1：入退去者数とは、期中センターへの新規入居者数及びセンターからの退去者数をいう。

注2：入退去小間数では、期中同一者がセンター施設間で移転した場合には入居、退去の双方にカウントしている。

注3：G棟の開業時全22小間に空小間はない。

注4：大阪の空き小間は、事務室である。

【参考4】 研修会の開催

川崎センター

回数	研修名・講師名	開催日時・場所・参加人数
第2回	「豪州牛肉・羊肉の現状と今後」 MLA豪州食肉家畜生産者事業団 シニアマネージャー 北野 秀一 氏	令和5年7月27日（木） 14時～15時30分 G棟3階大会議室 19人 リモート 79人
第3回	「食肉消費の動向」 (株)マオインターナショナル 代表取締役 毛見 信秀 氏	令和5年10月24日（火） 14時～15時30分 G棟3階大会議室 30人 リモート 45人
第5回	「大きく変わる国内の食肉流通を追う」 (公財)日本食肉流通センター 情報部長 安藤 松太郎	令和6年3月14日（木） 14時～15時00分 G棟3階大会議室 15人 リモート 35人

大阪センター

回数	研修名・講師名	開催日時・場所・参加人数
第1回	「食品衛生法の解説と身近な衛生手段である手洗いについて」 (株)千葉衛生科学検査センター グループリーダー 新保 昌康 氏	令和5年6月22日（木） 14時30分～16時 南館2階セミナー室67人 リモート 8人
第4回	「食肉を中心とした最新の畜産事情について」 農林水産省近畿農政局生産部 畜産課長 井上 義行 氏	令和6年2月22日（木） 14時30分～16時 南館2階セミナー室67人 リモート 54人

食肉産業展（セミナー講師）

回数	研修名・講師名	開催日時・場所・参加人数
第1回	「大きく変わる国内の食肉流通を追う」 (公財)日本食肉流通センター 情報部長 安藤 松太郎	令和6年3月6日（水） 11時～11時40分 東京ビッグサイト 41人